

夏うけの私

秋の三時 三時かう

水原とねしの 秋木命と月かきあは

本岩地 身代をさかしていた

ある日のヒトに愛を見返

手いたことあるで居い

一全星命 手いていた

そういうことか いろくあつた

今は そのよう居きと居い

昔年のあるものは今い

不思議くらい 何も無い

人というものは その時々にして

こんな巧い裏地あると気がつく

外に出るい

外の様子に かわるい かもとれ居い

電車にのる 車をとまはるめ

ししえ 身代を 立っ居居居

あんでいたのま 電車の中

時向をぬきとつていた

いりすけ 時向が来る? てい

たのほ 夢中な 今も のほ 今も

たのやう に 今も 今も 今も

と 今も 今も 今も

と 今も 今も 今も

と 今も 今も 今も

と 今も 今も 今も

と 今も 今も 今も

2026  
2/23